

高压洗浄機取扱説明書

WZ13-110H

平成 15 年 9 月 1 日現在

- 本機をご使用になる前に、必ずこの説明書をよくお読みください。
お読みになった後は必ず保管してください。

目 次

1. はじめに	1
2. 安全にご使用いただくために	2
3. 安全使用上の注意	3
3-1 作業開始前	
3-2 作業中	
3-3 作業中断または終了後	
4. 高圧洗浄機仕様	5
4-1 仕様一覧	
4-2 標準付属品	
4-3 パーツリスト	
5. 操作方法	10
5-1 作業条件	
5-2 運転準備および点検	
5-3 運転始動	
5-4 運転	
5-5 運転中断	
5-6 運転停止	
6. 極寒時の運転及び保管のポイント	12
7. メンテナンス	13
7-1 ポンプ	
7-2 エンジン	
7-3 ノズル	
7-4 高圧ホース	
8. トラブルの原因と対策	14



1. はじめに

このたびはワグナー高圧洗浄機をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

耐久性に優れた高性能な洗浄機ですが、正しいご使用方法を守っていただければ極端な性能の劣化につながりますので、必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しい手順で安全な作業を行って下さい。

- ①ポンプは(減速型)1800rpmを使用し、当社従来型と比べ自吸能力が向上しました。
- ②ラインストレーナーを取付二重のフィルターによりポンプにゴミが入るのを防ぎ消耗部品の寿命を延ばしました。

水は大切な資源です。

節水にご協力をおねがいします。

2.安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。

しかし万一、以下に示した注意を守らない場合は、ヤケド・ケガ・火災・感電などの重大な損害が発生するおそれがあります。

くれぐれも、以下の諸注意を丁寧に読み、十分理解してからご使用してください。

- 本文中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味は、つぎのとおりです。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性が高いものを示します。



その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性が高いものを示します。



その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるもの、または物的損害が生じるおそれがあるものを示します。

本文中で【危険】が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。

注意を怠った場合には、製品の性能低下または故障をまねくおそれがありますので必ずお守りください。

- 本書とは別にエンジンの取扱説明書が添付されていますので、本取扱説明書と併せて必ずお読みください。

3.安全使用上の注意

3-1 作業前



危険

●作業を安全に行うために、ヘルメット・保護メガネ・命綱等を着用するようにして下さい。



警告

●閉めきった場所または可燃物のある付近では、決してエンジンを作動させないで下さい。

●取扱説明書(P13-7 メンテナンス)に基づいて、点検を行ってください。

●エンジンの取扱説明書に記載されている安全性についての説明に従ってください。

●ポンプは、30秒以上の空運転（水のない状態）を行わないで下さい。パッキン類の消耗や損傷の原因となります。

3-2 作業中



危険

●高圧で水を吐出させていますので、スプレーパターン内には指や手足を入れないで下さい。また、決して他人に向けないで下さい。



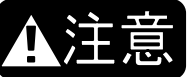
警告

●足場が不安定な場所または高所での作業は、洗浄機に車輪止めをし、必ず命綱を着用して下さい。



注意

●ポンプ運転者は、洗浄作業者を常時監視できる所に位置し、お互いの連絡を密にして下さい。



注意

●ノズルから吐出される水の勢いは大変強く、不用意に引き金を引くと、バランスをくずす恐れがあります。



注意

●ガラス等のこわれやすい材質には、直接吹きつけないで下さい。

御注意

- アンローダーのノブの調整で締切圧力が変化しますので、作業に合わせて調圧して下さい。
☆定格締切圧力以上には決して上げないで下さい。
- エンジンマフラーは非常に高温となります。
ヤケドを避けるためにも触れないで下さい。また、同様にホース類が接触しないように注意して下さい。
- エンジン作業中または熱い間は、ガソリンの補給は決して行わないで下さい。

3-3 作業中断または終了時

⚠注意

- エンジン停止後でも、ガン、ホース内には高圧の水が残っています。
ガンの引き金を引いて、圧力を抜いて下さい。
- ガンの引き金を引かないままでのポンプの作動は、3分以内として下さい。それ以上の時間、中断される場合は、必ずエンジンを停止して下さい。

4.高圧洗浄機

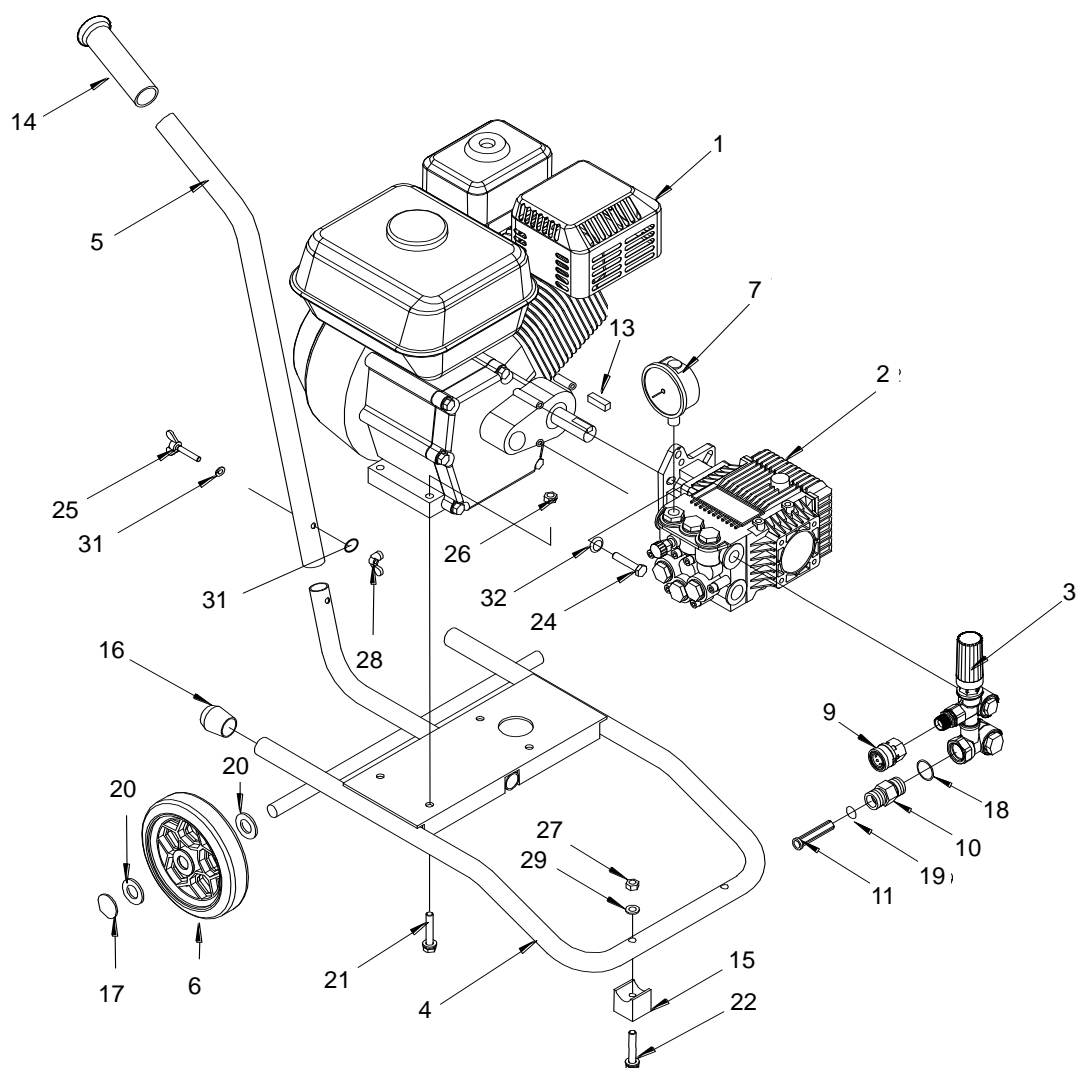
4-1 仕様一覧

	WZ13-110H
最大圧力	10.8Mpa(110kgf/cm ²)
吸水量	13 L/min
ピストン	セラミック3連
調圧方式	アンローダー
駆動源	エンジン ホンダ GX160LJ
エンジン出力 常用 / 最大	2.9kw(4PS) / 4.0kw(5.5PS)
重量	28kg
寸法(L×W×H)	835×440×690

4-2 標準付属品

	WZ13-110H
洗浄ガン	WZ ガン
ランス	45cm
ノズル	扇型 1562
洗浄ホースリールセット	3/8×30m 巻
吸水ホース	φ13×3m(ストレーナ付)

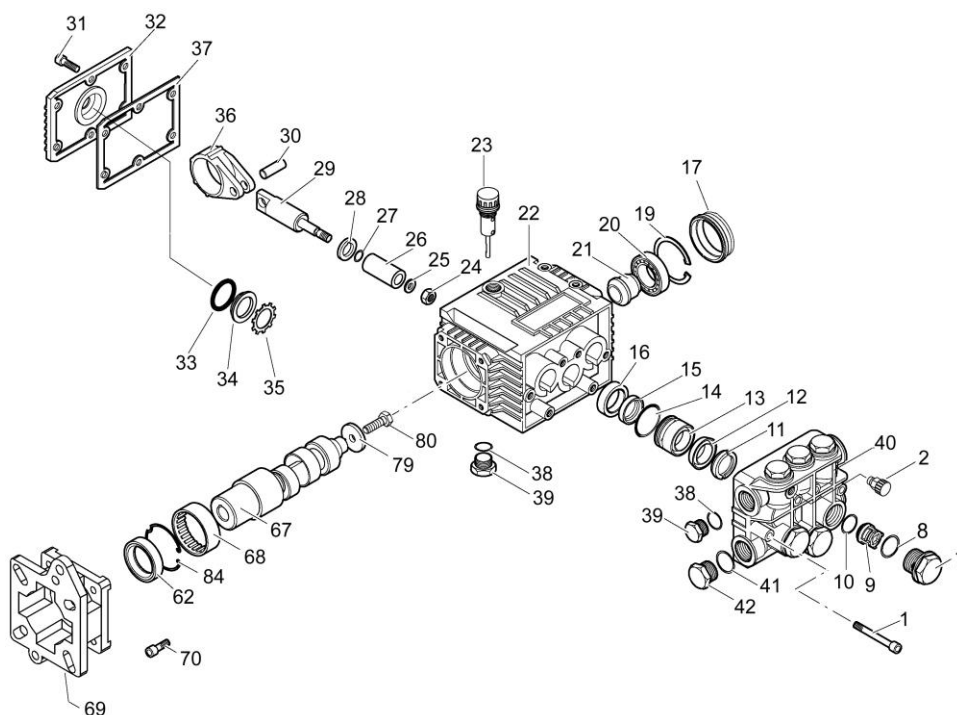
4-3 パーツリスト (本体部)



図番	商品コード	部 品 名	個数
1	2108161	エンジン GX160LJ(アラート無し)	1
2	2112120	高圧ポンプ XTA13.14KSX	1
3	2112170	アンローダバルブ ミマテック 4B	1
4	2112101	フレームベース	1
5	2112102	ハンドル	1
6	2112103	車輪(φ150)	2
7	2115555	圧力計 30MPa	1
9	2118067	カップラソケット 3/8 SUS メス	1
10	2112104	吸水口(長ニップル) 1/2×45mm	1
11	2116380	ラインフィルター1/2	1
13	2112105	キー 5×5×38	1
14	2112106	グリップ	1
15	2112107	スタンドゴム	2
16	2112112	ゴムパッキン C-31-3	2

図番	商品コード	部 品 名	個数
17	2112108	スターロックφ16	2
18	2112109	Oリング φ17.86×2.62	1
19	2112110	Oリング 10.82×14.38×1.78	1
20	2112111	平ワッシャー φ16	4
21	2109352	六角ボルト 8×35	4
22	2109303	六角ボルト 8×45 (SW PW 付)	2
24	2112113	小径六角ボルト M8×20	4
25	2109400	蝶ボルト M6×35	1
26	2109500	フランジナット M8	4
27	2109518	Uナット M8	2
28	2109526	蝶ナット M6	1
29	9920102	平ワッシャー φ8	2
31	9921502	スプリングワッシャー φ6	2
32	2112114	皿バネ座金 φ8	4

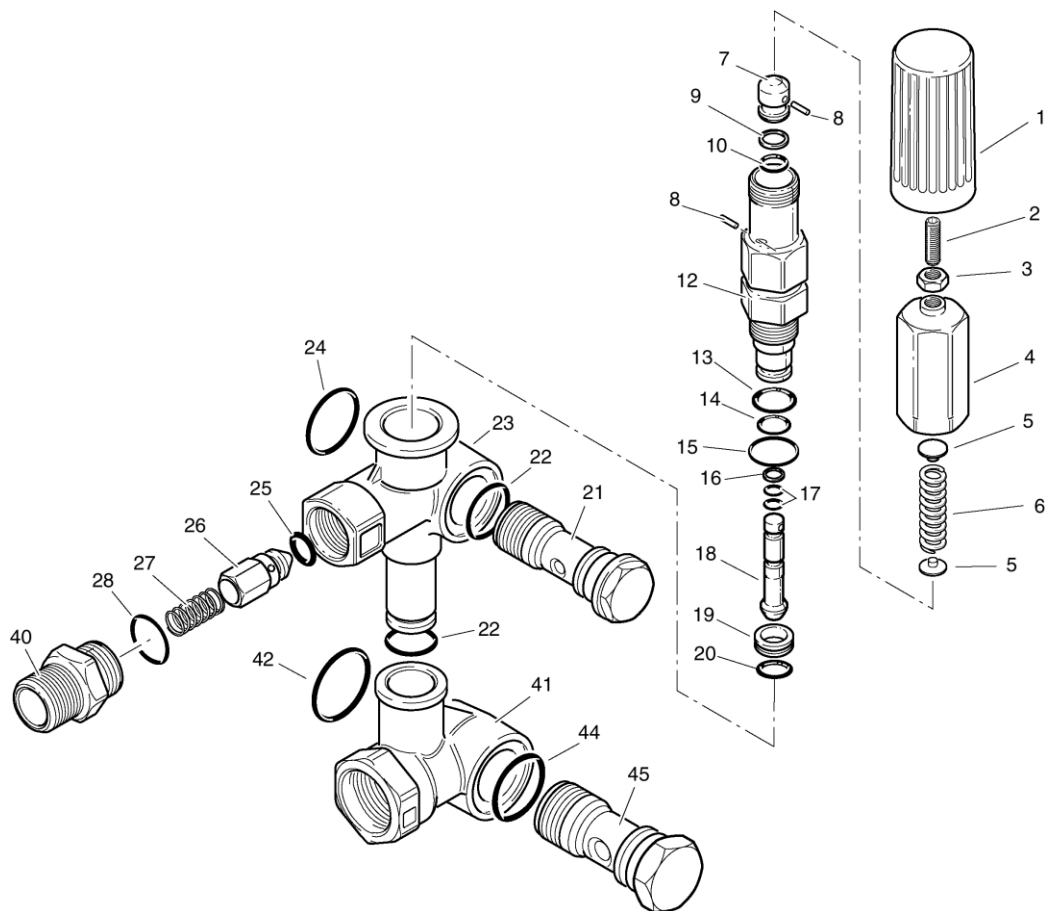
4-3 パーツリスト (ポンプ)



図番	商品コード	部 品 名	個数
1	2112121	六角穴付ボルト M6×60	6
2	2112122	エア抜バルブ	1
7	2112123	バルブプラグ	6
8	2112109	Oリング φ17.86×2.62	6
9	2112124	バルブ仕組	6
10	2112125	Oリング φ15.54X2.62	6
11	2112126	サポートリング	3
12	2112127	高圧シール	3
13	2112128	シールリテーナー	3
14	2112129	Oリング φ26.7×1.78	3
15	2112130	低圧シール	3
16	2112131	オイルシール 15×24×5	3
17	2112132	エンドカバー	1
19	2112133	スナップリング	1
20	2112134	ベアリング	1
21	2112135	リテーナー	1
22	2112136	クランクケース	1
23	2112137	ディップスティック	1
24	2112138	プランジャーナット	3
25	2112139	ワッシャー 8×13×0.5	3
26	2112140	プランジャー	3
27	2112141	Oリング φ4.48×1.78	3
28	2112142	スリンガーリング	3

図番	商品コード	部 品 名	個数
29	2112143	プランジャーガイド	3
30	2112144	プランジャーガイドピン	3
31	9900322	六角穴付ボルト M5×20	6
32	2112145	クランクケースカバー	1
33	2112146	Oリング φ20.24×2.62	1
34	2112147	オイルサイトグラス	1
35	2112148	スラストリング	1
36	2112149	コンロッド	3
37	2112150	ガスケット	1
38	2112151	Oリング φ14.00×1.78	2
39	2112152	ドレインプラグ	2
40	2112153	ポンプヘッド	1
41	2112154	Oリング 17.50×2.0	1
42	2112155	プラグ	1
62	2112156	オイルシール 40×52×7	1
67	2112157	クランクシャフト 20φ	1
68	2112158	ベアリング	1
69	2112159	フランジ	1
70	2112160	六角穴付ボルト M6×18	4
79	2112161	ワッシャー 6.5×28×4	1
80	2109310	六角ボルト M 6×20	1
84	2112162	スナップリング	1

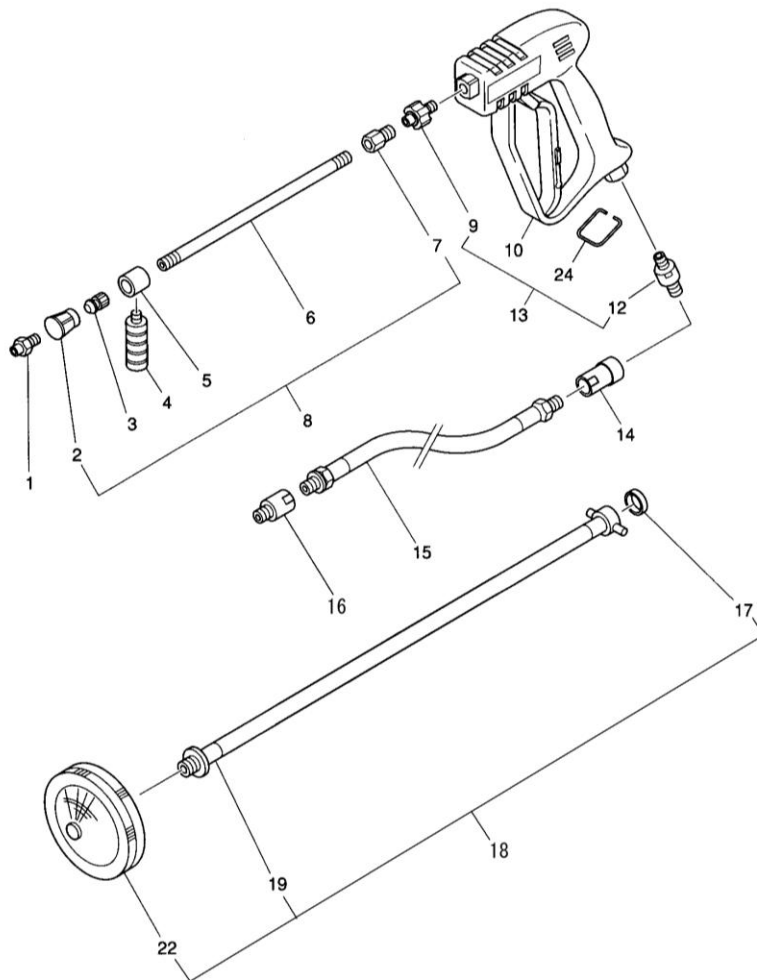
4-3 パーツリスト (アンローダー)



図番	商品コード	部 品 名	個数
1	2112171	調整ノブ	1
2	2112172	六角穴付ネジ M6×20	1
3	9910102	ロックナット M6	1
4	2112173	インサートノブ	1
5	2112174	スプリングプレート	2
6	2112175	圧力調整スプリング	1
7	2112176	アッパーピストン	1
8	2112177	ピン	2
9	2112178	バックアップリング	1
10	2112179	Oリング φ7.66×1.78	1
12	2112180	ピストンガイド	1
13	2112151	Oリング φ14.00×1.78	1
14	2112181	Oリング φ8.73×1.78	1
15	2112125	Oリング φ15.54×2.62	1
16	2112182	バックアップリング	1
17	2112183	Oリング φ2.90×1.78	3

図番	商品コード	部 品 名	個数
18	2112184	ローワーピストン	1
19	2112185	バルブシート	1
20	2112186	Oリング φ9×1	1
21	2112187	アウトレットプラグ	1
22	2112188	Oリング φ11.91×2.62	2
23	2112189	バルブボディ	1
24	2112146	Oリング φ20.24×2.62	1
25	2112190	Oリング φ4×2.5	1
26	2112191	チェックバルブ	1
27	2112192	スプリング	1
28	2112193	Oリング φ12.42×1.78	1
40	2112194	吐出口フィッティング	1
41	2112195	吸水ボディ	1
42	2112196	Oリング φ23.47×2.62	1
44	2112197	Oリング φ17.17×1.78	1
45	2112198	インレットプラグ	1

4-3 パーツリスト (WZガンおよび洗浄ホース)



図番	商品コード	部 品 名	個数
1	2119062	ノズル 直噴 #62	
	2119156	ノズル 扇形 #1562	1
2	2117406	チップガード	(1)
3	2117405	チップホルダー	(1)
4	2117404	グリップ	(1)
5	2117403	サポートベース	(1)
6	————	ランス 150mm	
	2117446	ランス 450mm	(1)
	————	ランス 700mm	
	————	ランス 900mm	
7	2117091	クイックカプラー オス×1/4 メス	(1)
8	2117415	ランスセット 150 mm	
	2117445	ランスセット 450 mm	1
	2117470	ランスセット 700 mm	
	2117490	ランスセット 900 mm	

図番	商品コード	部 品 名	個数
9	2117092	クイックカプラー メス×1/4 オス	(1)
10	2117100	WZ ガン	(1)
12	2118065	カプラープラグ オス×3/8 オス	(1)
13	2117000	WZ ガンセット	1
14	2118067	カプラーソケット	(1)
15	2118152	高圧ホース 20m	
	2118153	高圧ホース 30m	1
	2118154	高圧ホース 40m	
	2118155	高圧ホース 50m	
16	2118066	カプラープラグ	(1)
17	2116112	吸水ホース用 O リング	(1)
18	2116110	吸水ホース ASSY (ストレーナ・パッキン付)	1
19	2116111	吸水ホース トラロン (パッキン付)	(1)
22	2116320	ストレーナ	(1)
24	2117116	フック	(1)

5. 操作方法

5-1 作業条件

- 水は清水を使用し、60℃以下で使用して下さい。
- 吸込揚程は2m以内にして下さい。
- 水道を直結する場合は、水量が13 L/min以上であることを確認して下さい。

5-2 運転準備及び点検



注意

- 高圧ホースとポンプ及びガンへの接続は、カプラー方式です。接続後、確実にロックされているか必ず確認して下さい。
- ポンプ、ホース、ガス、エンジンの点検を行います。
(P13-7 メンテナンス参照)
- 吸水ホースを確実にポンプに接続し、貯水タンクに入れます。
- エンジンにガソリンを補給して下さい。満タンで、約2時間の連続運転ができます。
- 高圧ホースを、よれが生じないように延ばして下さい。

5-3 運転始動

- ポンプのエア抜きバルブを開きます。
- エンジンを始動させます。手順はエンジン取扱説明書を参照して下さい。
- エア抜きバルブより水が勢いよく排出され始めると、エア抜きは終了です。バルブを閉じて下さい。
- 吸水を始めたら5～10分間暖気運転をして下さい。いきなり全負荷運転しますとエンジントラブルの原因になります。
- エンジンの回転数が最大となるようにアクセルレバーを調整して下さい。

※製品は出荷時に最高圧力に調整されています。

5-4 運転

⚠注意

- 貯水タンクへの水の供給は十分に行い、作業中に水が不足し空気がポンプに吸い込まれることがないように、十分に注意して下さい。
- 作業中にポンプ内に空気が混入した場合は、下記の項目を点検し、空気抜きを行って下さい。
(手順 5-3 運転始動参照)
- 貯水タンクに水は十分入っているか？ ●吸水ホースに折れ曲がりがないか？
- 吸水ホースの接続は緩んでいないか？ ●O リングの損傷はないか？
- ポンプ、エンジンに直接水を吹き付けないで下さい。また雨天時には、雨が直接かからないように設置して下さい。

5-5 運転中断

⚠注意

- ガンの引き金を引き、ホース内の残圧を抜きます。
- エンジンを停止します。(エンジン取扱説明書参照)
- 貯水タンクに供給している水を止めます。

5-6 運転停止

- エンジンの回転数をアクセルレバーで下げます。
- 吸水ホースを貯水タンクより取り出し、エア抜キバルブを開き、吸水ホース、ポンプ内の水抜きを10～20秒間行って下さい。
- ガンの引き金を引き、ノズルより水を排出させます。
- エンジンを停止し、燃料コックを閉じて下さい。
- 吸水ホース、高圧ホースを本体よりはずします。

6. 極寒時の運転及び保管のポイント



- 凍結があった場合は、暖かい場所で自然にとかして下さい。
決してお湯はかけないで下さい。急激な温度変化でポンプにヒビが入ります。
- エンジンスイッチ OFF のまま、始動グリップをゆっくりと引き、シリンダー内凍結の有無を確認します。
- 保管する際、気温が氷点下になることが予想される場合は、自動車の不凍液と水を混合した溶液をポンプ、ホース内に充填させておいて下さい。

7. メンテナンス

7-1 ポンプ

- オイル交換は下記を目標に励行して下さい。
 - 初回 25時間後
 - 2回目以後 250時間毎
 - 使用オイル 自動車用エンジンオイル
 - マルチグレード 10W-30
 - シングルグレード SAE20
- オイルが汚れていたり乳濁した時は、その都度オイル交換を行って下さい。
- オイルは検油窓の中央に油面が位置すれば適量ですが、必ず検油棒で確認して下さい。
 - 油量が多すぎた場合に、プラグよりオイルがあふれることがあります。影響はありません。
- ポンプより水漏れが発見された場合は、パッキンの摩耗が考えられます。早急に交換修理を行って下さい。

7-2 エンジン

エンジンの取扱説明書に基づいて行って下さい。

7-3 ノズル

ノズルは消耗品です。吐出時の圧力が低下してきた時は、交換して下さい。

7-4 高圧ホース

1. 使用前にホースの外皮に傷がないか確認して下さい。
2. ホースを伸ばす際は、よれ、キンクが生じないように注意して下さい。

※ホースは若干でも水漏れが生じたら、ただちに使用をやめて交換して下さい。
高圧のため、非常に危険です。

8. トラブルの原因と対策

症 状	原 因	対 策
引き金を引いても ノズルから 水が吐出しない。	●ラインストレーナーが詰まっている。	●ゴミを取り除く。
	●アンローダーバルブの チェックバルブ固着。	●水道水を吸水口に入れるか、 ストレーナーより水をすくい 入れ、呼び水をする。
	●ノズルが詰まっている。	●ゴミを取り除く又は交換
	●ポンプが空気を吸い込んでいる。	●貯水タンクに水の補給 ●吸水ホース接続の増締め ●Oリングの損傷
	●吸水フィルターが詰まっている。	●フィルターの洗浄又は交換
	●ポンプ内バルブ不良。	★分解・点検
吐出中、継続又は 瞬間的に圧力が 降下する。	●ポンプが空気を吸い込んでいる。	●貯水タンクに水の補給 ●吸水ホースの増締め
	●吸水フィルターが詰まっている。	●フィルターの洗浄又は交換 ●ラインストレーナーの洗浄
	●アンローダー内バルブの不良。	★分解・点検
吐出圧力が低い	●ノズル口径が大きすぎる。 又はオリフィスの摩耗。	●ノズル点検（交換）
	●エンジンの回転数が低い。	●回転数を上げる 最大 3600rpm(ポンプ側減速後 1800rpm)
	●ポンプ内パッキンの摩耗。	★分解・点検
	●ポンプ内バルブの不良。	★分解・点検
	●アンローダー内バルブの不良。	★分解・点検
ポンプよりオイルが 漏れている。	●オイルの入れすぎ。	●適正量となるように オイルを抜く。
	●オイルシールの摩耗、破損。	★交換・修理
ポンプ内オイルが乳濁 又は泡状になっている。	●水の混入。	●オイル交換し、ポンプに直接 水を吹き付けない。
	●不適正オイルの使用。	●適正オイルとの交換。
ポンプより異音又は振動	●ピストン又はクランク部の破損。	★分解・修理



WAGNER 日本ワグナー・スプレーテック株式会社

本 社 : 〒574-0057 大阪府大東市新田西町 2-35 TEL. 072-874-3561 FAX. 072-874-3426

札 幌 : TEL. 011-711-8111
FAX. 011-702-4602

名古屋 : TEL. 0562-98-8621
FAX. 0562-98-8623

広 島 : TEL. 082-845-8550
FAX. 082-845-8551

仙 台 : TEL. 022-304-2461
FAX. 022-304-2462

関 西 : TEL. 072-874-3558
FAX. 072-874-3426

福 岡 : TEL. 092-472-5533
FAX. 092-471-8206

関 東 : TEL. 042-379-1161
FAX. 042-379-1166

四 国 : TEL. 087-879-2311
FAX. 087-879-2322

鹿児島 : TEL. 099-278-0170
FAX. 099-278-0171

◎仕様・部品番号・価格は予告なく変更することがあります。